

館報
いりやま

令和5年 3月1日現在

世帯数	845戸
男	891人
女	931人
総人口	1,822人

「無病息災願う伝統行事」
「こと八日」各地で開催！

今年度も伝
統行事である「こと八日」
行事が入山辺各地で開催
されました。舟付、中村
奈良尾、上手町、厩所地
区で開催されている伝統
行事です。

「こと八日」行事はそ
れぞれ平成8年に「松本
市重要無形民俗文化財」
に指定されており、平成
12年には「国の記録作成
等の措置を講ずべき無形
の民俗文化財」に選択さ
れています。

今年度は厩所町会と上手
町町の「こと八日」を
深掘りするべく、町内公
民館長さんよりご寄稿い
ただきました。



〈舟付町会〉

ヌカエブシの跡を百足の尾で払います



念仏を唱えながら数珠回し

〈上手町町会〉



藁馬を引いて町会内を回ります

〈厩所町会〉



藁馬の頭を丁寧に製作します

厩所町会

今年も、2月8日の午後1
時頃から、20人ほど公民館に
集まり、準備された材料を使
い、わら馬と貧乏神と呼ばれ
る、男女の人形を約1時間程
の作業で作ります。

出来上がった馬の周りを取
り囲み、長い数珠を3回念仏
を唱え廻します。その後、わ
ら馬を「貧乏神追い出せ」と
繰り返しながら、川まで
運び燃やします。

帰る時も、貧乏神がついて
くるからと決して後ろを振り
向いてはいけないと、言われ
ています。

無病息災を願い、長い間守
り継がれてきた伝統行事、続
けることが大変ですが、ぜひ
守り伝えてほしいものです。

(原・厩所町会 町内公民館長
飯ヶ濱 宗市)



上手町町会



上手町町の「こと八日」
行事は貧乏神の祭りと言われ
ています。20年ほど前までは
当屋制で、2月8日の夕方に
集まりました。ミズナラの木
を使って足と胴体の骨組みを
作り、藁を肉付けして、体高
1m位で、全長2〜2.5m
位の馬と、藁で人形を2体と、
木で金剛杖を作り、町会中を
子ども達を先頭に、「貧乏神ま
くりだせ、カゼの神まくりだ
せ」と歌いながら太鼓を叩い
て回ります。そして、村外れ
で燃やし、振り向かずに当屋
に戻り、粕汁を頂きます。町
内の家内繁栄と無病息災を祈
念する行事です。今では、少
子高齢化と各家庭の負担を減
らすため、集会所町会役員と
有志により、今も続けている
行事です。

(上手町町会 町内公民館長
大輪 長美)

入山辺地区民生児童委員交代!

2期目を迎え、今感じること



橋倉・南方町会
民生児童委員
武井 久枝

昨年12月より、民生児童委員の2期目の活動が始まりました。

1期3年間経験した事を基に、2期目ではその反省点を踏まえ、地域の皆さんの声に耳を傾けながら皆さんのお力になれたらと思っております。

私は若かりし頃、地元の農協に勤め、その後も農協婦人部を通して地域の皆様と交流する機会が多くありました。その為訪問した際に、おばあちゃん達と昔の話に花が咲いたりして、その事が民生児童委員の活動の中でプラスになつていたような気がします。また、大先輩の皆さんと接して人生の勉強をさせられた事が沢山有りました。

入山辺は、松本市の中で奈川地区に続いて2番目に高齢化が進んでいます。一人でも



新しい民生児童委員
主任児童委員の皆様

多くの赤ちゃんの誕生を願いつつ、これからもおばあちゃんたちとの会話に花を咲かせ「元氣」をお届けすることが出来たらと思います。入山辺民生児童委員の中で「私は一番高齢です」若い委員さんからパワーを頂きながら微力ですが勤めていこうと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



社会教育実習を終えて



松本大学
総合経営学部
観光ホスピタリティ学科
3年 丹羽 祐介

私が入山辺地区にお世話になり感じたこと、学んだことについてまとめさせていただきます。

まず実習を通して感じたことは、どこの地域よりも住民の皆さん同士のつながりが強く、地域を理解されている方、そして地域に誇りを持っている方がとても多くいらっしゃるということ。大学の講義を通して様々な地域の活動や特色を学んできましたが、この入山辺地区の皆さんは地域の歴史や特色などを地域全体で継承・理解されていて、だからこそ地域活動の内容が濃いということ、住民の皆さん一人一人の地域への思いが強くなっているのだと学びました。

次に感じたことは、入山辺地区には様々な文化、観光スポット、特色があり、とても魅力的な地域だと感じたことです。実習を通してするじゃん会への参加、文化祭への参

加、講座への参加、炭焼きへの参加など、多く地域に触れる機会がありました。その中で四季折々の景色だったり地域の温かさや面白い文化が多くあるということが分かり、もともと私の中であった入山辺はブドウの地域という概念が大きく塗り替えられてとても楽しく暮らせる地域というイメージになりました。



一番の思い出
「みんなのSOBAで楽しみ隊 脱穀作業」

私は実習生として社会教育の場ではどのようなことが行われているかのようなシステムで地域をサポートしていくのかといった内面のことも入山辺公民館での活動を通して学ぶことができましたが、一人の人間としても様々なことを学ぶことができました。短い間でしたが本当にありがとうございました。

鬼は外!福は内! 入山辺保育園 豆まき会開催



2月2日(木) 入山辺保育園にて豆まき会が行われました。毎年恒例行事となっており、鬼が保育園にやってきて、子供たちが一斉に鬼に向かって豆を投げます。怖くて泣きながらも「鬼は外!福は内!」と大きな声で必死に立ち向かう姿があり、また一つ子供たちにとつて忘れられない思い出になりました。

節分は、旧暦の立春が新年であったため、その前の日に邪気を払う目的ではじまったのが由来とされており、現在の大晦日のような日であったといわれています。年の変わり目に邪気を払い、1年の無病息災を願う行事として豆まきをおこない自分の歳の数だけ豆を食べる風習が残っています。

